

スクラム

～立志・挑戦・感動～

浮羽中学校学校通信

第24号(9月13日発行)

神無月～大きく心が実る月に～

8月終わりの大雨、被害はなかったでしょうか。9月も中盤から後半に入りますが、まだまだ暑いです。生徒たちは新人戦に向けて部活動に頑張っています。油断せず熱中症などにはくれぐれも気を付けてほしいと思います。新川・田籠地区では、棚田に彼岸花が咲いています。もう秋ですね。ところで、10月は昔の言い方では「神無月」(かんなづき)といいます。日本中の神様が出雲の国(島根県)の出雲大社に集まり、来年をどんな年にするか会議を開くそうです。そのため日本中の神様が



いなくなることから付けられた名前だそう。話は変わりますが、田んぼが緑色から黄金色に変わってきました。稲穂が実ってきた証です。10月に入れば稲刈りが始まる所もできてきます。

そこで「**実るほど頭を垂れる稲穂かな**」稲は中味が入ってくるにしたがって頭が下がってくるように、人間も中味がつまってくるにつれて謙虚になってくる、という意味です。もちろんその反対で、見かけは立派だが中身がない人もいます。みんなには外見だけは立派だ

が、中身は何もない!なんていう人にはなあってほしくないと思います。そこで中身を作るためには、まず自分の心の貧しさに気づくことだと思います。気づくことから何事も始まると思います。心が貧しいと思うからこそ、心を豊かにしたいという自覚が生まれます。そうするといろいろな事に興味が生まれ、いろいろな知識が身についてくると思います。心が貧しい人に限って自分の貧しさに気づかないものだと思います。授業中の態度、チャイム席、自転車マナー、不要物に人の悪口など、まだまだ中味が空っぽのままの人がいるのではないですか。季節はこれから実りの秋を迎えようとしています。心を広く持ち、自分の根をグッと深くはり、周りに気配りができるようになると、あなたの心はずっしりと重くなります。素直に自分をふり返ることができる人は、心に栄養が行き渡り、大きく成長するにちがいありません。これから秋が深まる、穀物の実りに負けないように、あなたの心もたわわに実ってほしいと強く思います。

□あなたは どう思いますか～先日の先生と生徒との会話～

掃除の時間、生徒二人が何もしないで立っていたので、担当の先生が掃除をするように言ったそうです。「二つの場所に分かれてはわいて。」そうしたら、返ってきた言葉は「そっちは(外は)暑くていや」と言ったそうです。暑いからその場所には行かない。何もしないでいる。その会話にびっくりです。まさに自分勝手な言動に悲しくなります。一生懸命に掃除をする生徒が本当に増えました。だからこそ今回のような事が残念でなりません。先生の言葉が素直に心に届かない。きっと掃除の場面だけでなく、授業や部活などのいろいろな場面で同じような事があるのかもしれない。ぜひ、自分を振り返り、これから心が大きく実ることを期待します。

ふれあいキャンプ・職場体験・勉強合宿 貴重な体験を!

2年生 職場体験学習(9月18日～20日)

～あいさつ そして「行動」 さらに 自ら「考動」へ～

○2年生は18日から職場体験です。浮羽町32事業所のご協力をいただき、今回も実施することができます。地域の方の協力に心から感謝いたします。生徒も事前の計画から訪問と準備を進めてきました。日頃の中学校生活では経験できない体験ができます。たくさんの方と出会い、いろいろなことを学ぶと思います。この職場体験が自分の将来の考えに影響を及ぼすこともあります。3日間の体験で学んだことを、これからの生活に生かせるようにして欲しいと思います。一日一日を有意義に、仕事に集中して頑張ってください。

【裏面に続く】

きっと将来の仕事や社会生活へと繋がる大切な3日間になると思います。2年生全員が成長し、職場体験が終わった時、今までよりも自信に溢れた学年集団になっていることを期待しています。では「あいさつ」と「考動」を大事にして、最高の職場体験にしてください。応援しています。保護者の方も、生徒が仕事をしている姿に出会おうと思います。ぜひ声をかけてください。よろしくお願いします。また1年生はふれあいキャンプ、3年生は勉強合宿に行きます。夜須高原青少年自然の家での宿泊体験です。仲間との楽しい時間を過ごすことはもちろん、自分を鍛える二日間にしてきてください。

■福岡県新人水泳大会 **男子 400m メドレーリレー 第2位** (4分40秒05)
(田中友規君・佐藤功太郎君・廣底隼弥君・廣底尚人君)

- 男子 400M リレー 4位 男子総合 4位
- 各種目に出場した選手は自己ベストを目標に最後まで頑張りました。